



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和2年2月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

「失敗」はない、全ては「学びの機会」

教頭 高田 篤志

12月に今年度後期の学校評価を保護者の方々にしていただきました。

重点目標である「主体的に考え、互いに伸びようとする子供の育成」に向けたアクションプラン
①聞いて考える力を育てる。②思いやりの心を育てる。③体力の向上を図る。の三つの柱については、それぞれ①88.9%②94.6%③97.3%と高い評価をいただきました。

9月号でお伝えしたように、前期の学校評価では、①「家庭学習の習慣化」②「自分に対する自信」③「規律ある生活習慣」④「ゲーム、SNSの約束時間を守る」の4項目については、目標の80%を切る結果となっていました。今回の学校評価では、②「自分に対する自信」については、83.8%と目標値をクリアすることができました。これは、今年度の子供たちの日々の成長や取組を、温かく見守り、支えてくださった各ご家庭や地域の皆様のおかげだと考えています。「自分のことを受け入れられる、自分にはよいところがあると言える」自己肯定感、厳しい環境に置かれても自分自身の支えとなり、何事にもチャレンジをしていけるエネルギー源となります。

高岡市出身の人材教育家、メンタルコーチの飯山暁朗（じろう）さんは、よく講演の中で表題の言葉を言われます。「子供の周りにいる大人は、子供の自己肯定感を高めるため、子供の失敗を受け止め、その中にある思いや努力を認めてやらなければなりません。また、失敗に至った背景を共に振り返り、今後の方策を考え合う同志でなければいけません。」

今回いただいた学校評価を「学びの機会」と捉え、教職員一同、子供たち一人一人の幸せのため、これからも教育活動を粘り強く続けていきます。



研修のまとめ

研究主任 松本 恵美

本校では、今年度の研修主題を「主体的に関わり合って考えをつくり、表現しようとする子供の育成を目指して一聞いて考えを深め、判断し、表現する力を育む支援の在り方」とし、次の3点を大切に研修に取り組みました。

- | |
|-----------------------------------|
| ① 話す力・聞く力を高めたり、伝え合う場を工夫したりすること |
| ② 友達と主体的に関わりながら、考えをつくる学習過程を工夫すること |
| ③ 考えをまとめたり、学習したことを活用したりする場を工夫すること |

① 話す・聞く力を高める工夫について

遠隔協働学習での発表

3年国語科「もうすぐ雨に」

② 考えをつくる学習過程の工夫について

操作活動しながら話し合うグループ活動

6年算数科「円の面積の求め方を考えよう」

井口小・利賀小との感想発表会を設定することによって、他校の友達に分かりやすい感想を伝えようという願いをもちました。そして、自分の文章や話し方を見直す姿が見られました。



他校の子供へ発表

自由に操作できる図形を基に話し合ったことで、友達との操作活動や発言に関連させて考えを述べていました。関わり合ったことによって自分の考えをつくることができました。



グループでの話し合い

これからも、友達と関わりながら自分の考えをつくり、考えを深めることができるように、場の設定や教師の支援を工夫していきたいと思います。また、相手に考えが伝わるように話したり、表現したりする力が高まる学習の在り方を研究していきたいと思います。